

チャペル週報

No.9

2015.6.1 ~ 6.5

互いに重荷を担いなさい。
そのようにしてこそ、キリストの律法を
全うすることになるのです。

(ガラテヤの信徒への手紙6章2節)



ランバス記念礼拝堂前

関西学院宗教センター

☆チャペル・スケジュール☆

時間 10:35～11:05 場所 各学部チャペル

6月1日(月)神 <説教学演習A>芳賀 顕 司 (神学部4年)
経 舟 木 謙 (宗教主事)
人文 禎 顯 (単立 北鈴蘭台教会牧師)
聖和 聖書物語 ファラオのかたくなな心
理 前 川 裕 (宗教主事)

6月2日(火)神 李 政 元 (総合政策学部教授)
文 音楽チャペル ゴスペルクワイア“P.O.V.”
社 宗教総部によるスチューデント・チャペル
法 三位一体 Christian Hermansen (宣教師)
経 Jeffrey Mensendiek (宗教センター宗教主事)
商 山 本 俊 正 (宗教主事)
国 学生活動報告 国際社会貢献活動とUNYVについて
聖和 田 淵 結 (教育学部宗教主事)
理 関西学院室内合奏団 (1)
総 鎌 田 康 男 (総合政策学部教授)

6月3日(水)宣教師による学部合同 (神・法・経済・商・人間福祉)チャペル
“Taking Care of God’s Creation” Timothy Dale Boyle 場所:中央講堂
国 ペンテコステをおぼえて 平 林 孝 裕 (宗教主事)
聖和 小 見 のぞみ (聖和短期大学宗教主事)
理 前 川 裕 (宗教主事)
総 村 瀬 義 史 (宗教主事)

6月4日(木)神 福 万 広 信 (初等部宗教主事)
文 Andreas Rusterholz (宗教主事)
社 チャペルコンサート グリークラブ
法 三位一体 Christian Hermansen (宣教師)
経 音楽チャペル ゴスペルクワイア“P.O.V.”
商 岩 野 祐 介 (神学部准教授)
国 Eun Ja Lee (宣教師)
聖和 風を感じようーペンテコステ礼拝 水 野 隆 一 (神学部教授)
総 清 水 陽 子 (総合政策学部准教授)

6月5日(金)院 山 本 俊 正 (商学部宗教主事)
神 トーンチャイム隊による音楽礼拝
文 English Chapel Andreas Rusterholz (宗教主事)
経 「難民の日(6/20)」を覚えて 舟 木 謙 (宗教主事)
人 出会い⑤ 才 村 純 (人間福祉学部教授)
聖和 相手を知ること 寺 川 桃 代 (手話部たんぽぽ 教育学部4年)
理 前 川 裕 (宗教主事)

◇ランバス早天祈祷会 毎金曜日 8:20～8:40 ランバス記念礼拝堂(上ヶ原)
6月5日(金)総合政策学部のために 細 見 和 志 (総合政策学部長)

何だかわからない時間

細見和志

この春、チャペルオリエンテーションの講話を4回行った。総合政策学部でも、学部長が特に新生対象のお話をするのが恒例になっている。なにしろ、初めてキリスト教の礼拝に接する学生が大半なので緊張する。自分の話し次第で、もうチャペルなんて行かないと思う学生がいるかもしれない。責任重大である。そこで、全員が聖書やキリスト教について何も知らない、興味もない、と仮定して話してみた。

なぜ、1時間目と2時間目の間に30分も授業でもない、休憩でもない時間が設けられているのか？ チャペルの時間は、単位が出ないから授業ではない。もちろん、休憩時間でもない。お祈りや讃美歌を歌ったりするので、講演会でもない。ちょっと乱暴だが、要するに、「何だかわからない時間」なのです、と説明した。でも、この「何だかわからない時間」を関西学院大学は、昔からとても大切にしている。それこそ、この時間がなくなれば、関学が関学でなくなる、といていいくらい、心底大切にしている。それはなぜか。

ここまでくれば、いよいよ私の話しの核心である。聞いている新生の皆さんも、「なんでやる」というような表情でこちらを見てくれている。ここで、「関学はキリスト教主義の学校だからです」と言ってしまうと、ダメである。答えが優等生過ぎる。私は、「チャペルは余白の時間です」と答えた。「主題」に対する「背景」、「図」に対する「地」といってもいい。絵画において、主題となる人物が際立つためには、何も描かれていない余白が必要である。音楽においても、同様だ。京都・竜安寺の石庭を持ち出すまでもなく、石の造形を活かしているのは、何もない白い砂なのである。

チャペルは、関西学院大学の教育の主役ではない。主役は、各学部それぞれの教育である。授業のシラバスには、授業の目的や成績評価の方法が明示されている。まさしく、大学教育の主題であり、図である。しかし、チャペルにはシラバスも評価もない。しかし、なにも描かれていない余白が絵画に生命を与えるように、チャペルという「何だかわからない時間」が、キャンパスに集うすべての人に生命を与えるのだと思う。「何だかわからない時間」だからこそ、どんな時間にもなれるのである。出会いの時、安らぎの時、慰めの時、発見の時、問いかけの時、それを決めるのはチャペルに集う一人一人である。

(総合政策学部長)

●ランバスチャペル・ヌーンコンサート

西宮上ヶ原キャンパスの正門に入って右手に見えるチャペル「ランバス記念礼拝堂」では、礼拝はもちろん、コンサートや式典、講演会、卒業生の結婚式などが行われています。5月～6月には、関学を代表する音楽団体による恒例のヌーンコンサートが開かれます。お昼休みのひととき、どうぞ耳を傾けてみてください。

6月1日(月) 関西学院大学応援団総部 吹奏楽部

6月3日(水) 関西学院ハンドベルクワイア

6月10日(水) 関西学院聖歌隊

6月11日(木) 関西学院ゴスペルクワイア “Power Of Voice”

いずれも12時50分～13時20分

ところ:ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原キャンパス)

主 催:宗教センター・宗教音楽委員会

●オルガン音楽の泉 2015 Spring Semester

パイプオルガンの響きに癒やお昼のひととき、どなたでもご自由にお楽しみください。

第1回 6月4日(木) 西山 聡子(本学オルガン講師)

第2回 6月12日(金) 坂倉 朗子(本学オルガン講師)

第3回 6月23日(火) 瀬尾 千絵(日本基督教団 神戸教会オルガニスト)

第4回 7月1日(水) 太宰 まり(関西学院オルガニスト)

いずれも12時50分～13時20分(12時40分開場予定)

ところ:関西学院中央講堂

問合せ:宗教センター

●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急梅田駅から徒歩すぐ、アプローズタワー14階の大阪梅田キャンパスでは、大学院授業期間中の毎週木曜日にチャペルアワーを開催しています。(17:50～18:20 1405教室)

6月主題:「ペンテコステ(聖霊降臨祭)を覚えて」

6月4日(木) 山本 俊正(院長補佐)

6月11日(木) 舟木 讓(大学宗教主事)

6月18日(木) 田淵 結(宗教総主事)

6月25日(木) Jeffrey Mensendiek(宗教センター宗教主事)

●夕べの祈りatランバス～テゼの音楽とともに～

ろうそくの光を灯して、テゼの歌を歌いながら、皆でこころ静かに過ごす夕べの祈りのひとときです。どなたでもご参加ください。

第2回 6月4日(木)18:30～20:00

ところ:ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)

主 催:夕べの祈り準備会(学生有志)

協 力:関西学院宗教活動委員会

●ランバスチャペルアワー

学生たちが企画するチャペルです。どなたでもお気軽にご参加ください。

6月22日(月) 献血チャペル(仮題)

ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)10:35～11:05

*ランバスチャペルアワー委員会は、共にチャペルをつくる学生を募集しています。

興味のある方は、吉岡記念館事務室・宗教センターに声をおかけください。

●CD・DVDライブラリー

吉岡記念館事務室宗教センターには、教会音楽、キリスト教に関するCDやDVDを備えています。本学学生及び教職員(学生証または身分証明書必要)であればどなたでも利用できますので、希望者は事務室までお越しください。

●使用済み切手収集にご協力ください

本学では日本キリスト教海外医療協力会(JOCS)切手部の活動に協力し、使用済み切手の収集をしています。通常切手も対象としていますのでどうぞ吉岡記念館常設の回収箱にお届けください。